

総合計画策定市民会議 第1回専門委員会 会議録

【都市基盤】

開催日時	平成 25 年 5 月 15 日（水）午後 10 時～正午
開催場所	勤労者会館 2 階 大会議室
出欠状況	総委員数：11 名（出席委員数：9 名、欠席委員数：2 名） 事務局 2 名、コンサルタント 1 名 欠席委員：山口 朝也委員、新保 伸二委員
会議の概要	進行：副部会長欠席により大森部会長 
開会 (大森部会長)	定刻になりましたので、只今から専門委員会を開会します。
あいさつ (大森部会長)	皆さん、お疲れ様です。 本日の委員会では、前回話し合っていた「市の良いところ」と「良くないところ」という、言わば“現状認識”たる「材料」をもとに、「いいところは伸ばす方策を」「悪いところは改善する方策を」時間をかけて十分に議論していきたいと考えています。 それらを考える中で、この「都市基盤」には大きく分けて3つの考えるべき視点があると思います。それは「道路アクセスの向上」、「公共交通の充実」、「人口減少社会における上下水道事業の維持」であると考えます。

この3つの視点は、それぞれ①若者の定住、②高齢者の足の確保、③人口減少による上下水道料金の市民負担増といった、これからの10年先では不安要素がたくさんあります。

この3点を踏まえたうえで、皆さんから十分なお意見をいただきたいと思っていますので宜しくお願いします。

コンサルタント

前回のワークショップでは、都市基盤分野における“市の良いところ”“市の良くないところ”についてご意見をいただいておりますが、これから“理想とする都市の姿”を考えていくにあたっては、部会長より話がありましたとおり、良いところは伸ばし、悪いところは改善する方策を見つけなければなりません。

当委員会では、すでに皆さんのご意見からカテゴリ分類が済んでいますが、まだまだ意見が足りていないものもあります。

まずは、カテゴリ別に内容を確認しましょう。



～ワークショップ（前回の続き）～

- ①意見の分類作業
- ②追加意見の集約作業
- ③方策を考えるための意見交換

委員

只今の意見交換の中で、市の道路網のアクセスについて議論があり、道路整備は地形的な条件にも左右される要素があるとお話でした。現状の市の道路網はどのような構造なのでしょう。

委員（建設課長）

ちょうど白地図がありますので、現状の道路網について説明させていただきます。
※ 白地図へ道路の線を引き、市の現状の道路網を説明



このように、道路を整備していくには地形的要素など様々な条件をクリアしていかなければならないのが現実です。

今後、皆さんから道路についても様々にご提言いただくものと考えられますが、できない相談もあることは予めご認識いただきたいと思います。

(全員で確認)

事務局

今回のワークショップの分類に従って、皆さんから今後取り組むべき柱となる方策に関して様々にご意見をいただきました。この中である程度キーワードが見つかってきたように感じます。

そこでご提案ですが、今話し合われた中からテーマの絞り込みが可能になってくるといいますので、事務局である程度まとめさせていただきたいと思います。

その資料を事前に配布し、次回の会議ではまとめたテーマに基づき委員それぞれが方策を考えておけば、時間のロスも無く、意見交換できる時間も多くなってくるといいます。

皆さん如何ですか？

(異議なし)

部会長

それでは、事務局から送付されてくる内容を確認し、委員それぞれが意見をまとめておくようにお願いします。

本日は長時間にわたってお疲れ様でした。

次回の会合は、6月25日（火）午前10時から本日同様この会場（勤労者会館2階大会議室）で行います。

本日は、これをもって閉会と致します。お疲れ様でした。

＜総合計画策定市民会議事務局＞

東御市 総務部 企画課 企画政策係（総合計画担当）

電話：64-5893（直通）

Eメール：kikaku@city.tomi.nagano.jp